発行者：NPO法人いのちの里京都村　発行年月：2012年12月

いのちの里京都村新聞 #001

KYOTOMURA TIMES

We connect the urban and the rural areas, and create the new business.

Take Free!

競争のない商品・サービスを、いっしょに創りませんか。京都村（いのちの里）ビジネスがはじまっています。

「いのちの里京都村」マーク

集落に眠る地域資源を、農山漁村と都市部の企業、商店、NPO、大学などが協働で見直し、今までになかった新しいビジネスを創造していく。そんなプロジェクトがはじまっています。
「いのちの里京都村」のネットワークで、集落ならではの魅力と都市部の加工技術、デザイン、マーケティングを掛け合わせ、独自の魅力ある商品やサービスをどんどん生み出していきます。ただ今、参加集落・企業等を募集中です。

プロジェクト事例①（福知山市大原（おおばら）集落）

鹿肉をインドやネパールの技で調理し、牛肉や鶏肉にも負けないカレーが誕生！獣害の問題を、うまく料理しました。

大原集落の猟師さんの、「獣害対策で狩猟した鹿をなんとか商品として流通させたい！」「過疎集落にとって、鹿肉は十分に供給できる数少ない特産品」「鹿肉はとってもヘルシーなのに食べられていないのはもったいない」という思いに応えて、京丹波産の鹿肉を使ったオリジナル鹿カレーを、京都市内のレストラン「ぐるぐるかふぇ」が創作。よそとは次元のちがう鹿カレーを2012年12月から販売開始。また、同じ京都市内の仏風惣菜のテイクアウトショップ「LINDENBAUM（リンデンバーム）」でも、本場仕込みの鹿ソーセージを販売。さらに、あっと驚く鹿フードも開発中です。

プロジェクト事例②（福知山市大原（おおばら）集落、京丹波町質志（しづし）集落）

異国の音楽イベントと掛け合わせると、不思議なことに里の魅力が倍増！集落にお金が落ちる観光ができました。

「公共交通アクセスの無い大原集落と都会を、都市農村交流のチカラで直行バスを走らせよう」と、大原うぶやの里活性化協議会と京都国際レストランネットワークが、農村と都市の新しい絆による、ユニークな着地型観光ビジネスを企画。昨年は、京阪京都交通（株）が直行バスを出し、インド音楽企画「ガナパティ」が大原神社を舞台にしたインド音楽によるコンサートを演出して、たくさんの参加者が集まりました。今年は、お隣の集落で質志鍾乳洞公園協力会も参画して、瑞穂鼓太鼓とネパール音楽とのコラボレーションによるツアーを企画しチケットを完売しました。

プロジェクト事例③（京丹後市五十河（いかが）集落）

集落のビジネスづくりの現場を、そのまま人材開発セミナーの会場に！最高水準の研修プログラムが完成。

農村環境とICTを活用した人材開発プログラム「ビジネスクリエイター開発セミナー in 五十河～競争のない市場を創りだす“創造力×協働力”養成講座～」を、NPO法人グリーンライフ丹後と京都大学の農村計画学研究室とNPO法人いのちの里京都村が共同で企画。3大特徴（①農村地域のさまざまな価値と問題を総合的に体験する、都市農村交流の新しいスタイル　②「協働型ビジネスモデルマップ」というフレームを採用した、アイデア発想からビジネスモデルの開発まで行うワークショップ　③セミナー当日だけでなく、事前から事後の交流まで関係が続くような「場」と、外部の専門家集団とワークショップ会場をリアルタイムにつないだ議論を可能にしたICTの活用）が好評を博しました。

EVENT INFOMATION（綾部市志賀郷（しがさと）集落）

真っ暗な農道をゆく電飾トラクター。観光資源のない農村部が集客に成功したクリスマスの「サンタパレード」。

「サンタパレード」は、志賀郷の住民だけでなく、集落外からもたくさんの参加者が訪れる人気イベントです。電飾で飾られたトラクターが暗闇の田園に浮かびあがる幻想的な光景。色とりどりのイルミネーションで飾られたトレーラーをトラクターで牽引し、なんと34㎞もパレードします。住民がお店を出し、手打ちのうどんやそば、梅酒、カレー、ぜんざい、パンケーキなども楽しめます。地元から参加する人も、車の誘導にあたる人も、お店の人も、もちろん子供たちも、みんなサンタの衣装。集落をあげて、サンタクロースが皆さんを歓迎します。
●2012年は12月23日・24日に開催予定。

現在、いろんな集落で、プロジェクトが進行中です。

ところで、「いのちの里京都村」ってなに？

「いのちの里京都村」は、「過疎化・高齢化が進行した農山村の再生」という趣旨に賛同する主に都市部の企業等に働きかけて、農山村への支援をコーディネートし、農山村と都市部の双方の利益に寄与する協働を生み出すことを目的に、NPO法人として設立しました。
いのちの里京都村　オフィシャルサイト　http://kyotomura.jp/
問い合わせ先電話番号　050-3693-7964　メールアドレス　ask@kyotomura.jp

「いのちの里京都村」マークを様々な商品に。

参加者が、食事をしたり、ツアーに参加したり、イベントを楽しむことで、京都の「いのちの里」再生に貢献することになる、商品・サービスに付けられるマークを開発（本紙右上部参照）。この認証マークの仕組みを活用しながら農山村と都市の協働ビジネスを推進します。

※「いのちの里京都村」マークが貼付されるケースは、地域の特産物が活用されている商品、地域経済に貢献する商品、売上の一部が農山村の再生に使われる商品、など。

いのちの里京都村応援基金を2012年9月1日に設置しました。

「いのちの里京都村」マークを貼付した商品・サービスの売上の一部や、市民や企業の皆様からお預かりした寄付金を、京都の農村部における課題解決のために取り組む市民活動団体に助成していきます。
● 設置・運営者：公益財団法人京都地域創造基金
● 設置申請者・協働運営者：NPO法人いのちの里京都村
http://www.plus-social/cn8/inochi.html

いのちの里京都村

NPO法人いのちの里京都村の主旨に賛同していただける方は、ぜひ、ご参加・ご入会をお願いいたします。詳しくはWebサイトをご覧ください。
http://kyotomura.jp/about/join/index.php